



神戸東ロータリークラブ
創立65周年記念誌



ROTARY CLUB of
KOBE EAST
65TH

神戸東ロータリークラブ
創立65周年記念誌

創立65周年記念式典・祝賀会

式典



受付

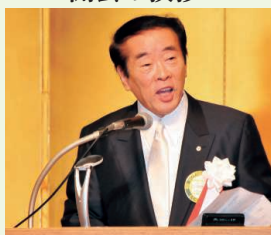


司会者（菅野和矢 家族委員会副委員長）

オープニング



開会の挨拶



乙守典厚創立65周年記念事業実行委員長

国歌並びにロータリーソング斉唱



ソングリーダー 西村雅子さん



来賓紹介



物故会員追悼





歓迎の挨拶



澤田正樹会長

来賓祝辞



矢野宗司 ガバナー



創立65周年記念奉仕プロジェクト事業報告



松井照男 奉仕プロジェクト委員長

感謝状贈呈



神戸六甲ボウル 波多達也 社長

創立65周年記念式典・祝賀会

祝賀会

歓迎の歌 (コーラス同好会)



乾杯



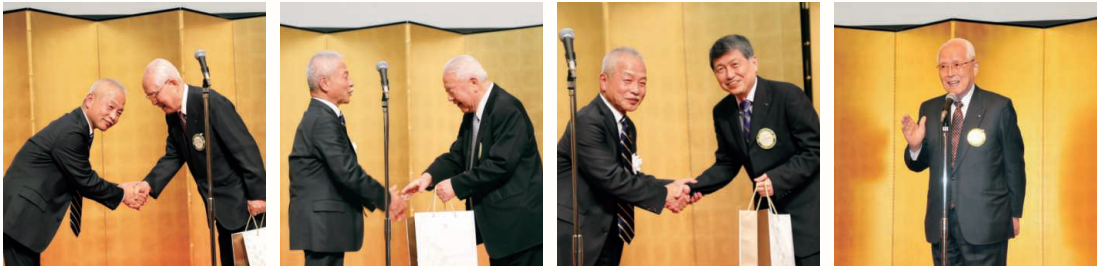
佐井裕正 神戸RC会長







皆出席会員表彰



銀婚会員表彰



吉田正人 会員

在籍50年表彰



故 嘉納忠夫 元会員 令 夫人

永年勤続表彰



事務局 橘 恵子 さん

閉会の挨拶



大澤 勇 創立65周年記念事業副実行委員長

「手に手つないで」 斉唱



お茶席



絵画同好会



目次 Contents

創立65周年記念式典・祝賀会 会場風景	2
目次.....	9
創立65周年を迎えて 神戸東ロータリークラブ 会長 澤田正樹	10
祝辞 国際ロータリー第2680地区 ガバナー 矢野宗司	11
創立65周年記念事業報告 創立65周年記念事業実行委員長 乙守典厚	12
創立65周年記念式典・祝賀会 プログラム	14
式次第・ご来賓ご芳名・物故会員・皆出席会員・銀婚を迎えられた会員	
創立65周年記念奉仕プロジェクト事業報告	16
2018～2019年度事業紹介	22
創立65周年記念パネルディスカッション	24
神戸東ロータリークラブの行方 ―会員意識調査からひも解く「提言その③」―	30
5年間の歩み（資料）	35
61st～65th RECORDS.....	36
歴代地区委員（5年間）	41
歴代役員・理事・委員長（5年間）	42
現会員名簿.....	44
実行委員会組織図、編集後記.....	47



創立65周年を迎えて

澤田 正樹

神戸東ロータリークラブ
第65代会長

本日は、神戸東ロータリークラブが誕生してから65周年の記念例会であります。この記念すべき例会に第2680地区ガバナー矢野宗司様、ガバナーエレクト浅木幸雄様、地区ロータリー財団委員長石丸鐵太郎様以下地区の皆様、また我クラブの親クラブであります神戸ロータリークラブ会長佐井裕正様はじめ近隣のクラブの皆様、および、今年度はもとより日頃から奉仕活動にご協力いただいていた方々に、ご臨席賜りました。誠に有難うございます。

また、創立65周年記念事業実行委員会乙守典厚実行委員長のリーダーシップのもと、クラブの皆様のご協力ご尽力により、この日を迎えることができました。皆様に心より感謝申し上げます。

神戸東ロータリークラブでは、昨年発足した野球同好会を含めて、現在15の同好会が活動しています。隣の控えの間には、絵画同好会の方々の作品が並んでいます。いずれも力作で心に染み入る素晴らしい絵です。また、後ほど、披露されるコーラス同好会の歌も、会員の方々と奥様方の素晴らしいハーモニーに満ちあふれています。これら同好会活動を通じて培われる親睦と友情が神戸東ロータリークラブの雰囲気を作っていると確信しています。

神戸東ロータリークラブは創立以来、5年毎に周年事業を行なっています。クラブには、過去5年間に40人弱の方が新たに入会されています。即ち全会員の1 / 3の方が、5年前の創立60周年記念事業が開催された後の入会者であり、創立60周年記念事業を知らないということになります。この新入会の皆様に、クラブの先輩方が受け継いで来られた考えを知っていただき、また、これからのクラブのエンジンとしてクラブの活力源になっていただくために、全会員が参加できる65周年記念事業を実行しアクセントの年度にしようと思いを決意いたしました。もちろん、記念事業は、ロータリーの根幹である“奉仕の理想”に繋がる奉仕事業をしようと思いを決めました。また、この決意を後押ししていただいたのが、矢野ガバナーがスローガンに挙げられた、3つのアルファベットのC、Chanceを捉え、Challengeを行い、Changeを遂げるという言葉です。大いに鼓舞され勇気をいただきました。そして、私は“共に一緒に心の手つないで行動しよう”という会長スローガンを掲げ今年度スタートしました。このスローガンを心の中で叫びながら走ってまいりました。そしてその結果、今日ここに至り、“輝け奉仕の燈”という一つのゴールにたどり着きました。

やってきた奉仕事業については、後ほど報告がありますが、これらの事業ができたのは、ここにおられる全ての方々に支えられてきたお陰であると実感しています。改めて心から感謝申し上げます。

そして、今年皆様からいただいた活力がクラブの源泉となり更にこれからのクラブを飛躍させる力となっていくことを願っています。

本日は、多くの方々にご参集いただき心底感激致しております。



祝 辞

矢野 宗司

国際ロータリー第2680地区
ガバナー
(加古川中央)

神戸東ロータリークラブの創立65周年を心からお祝いいたします。先ほどは創立時からの歩みについての興味深い映像を拝見させていただきました。とりわけ、阪神・淡路大震災におけるご苦労とその後のクラブとしての復興の場面には目頭が熱くなりました。

当クラブは、地区において常にリーダーシップを発揮されてきました。ロータリー哲学、職業奉仕の理念について、明確な方向性を堅持しつつ、奉仕活動の実践においても、毎年素晴らしいプロジェクトを実施されており、私も地区においてロータリー財団の補助金に関与してきた立場から、当クラブに常に敬意を払ってきた次第です。また、当クラブは多くの同好会があり、家族の方との交流も盛んで、まさにEnjoy Rotary の模範のクラブとも言えます。

さて、創立60周年を祝われてからの5年間において、ロータリーは大きく変わってきました。5年前の大室ガバナー年度の時に未来の夢計画が始まり、ロータリー財団の補助金プロジェクトが大幅に変更になり、また、週1回、特定の場所に集まって例会を行う伝統的なロータリーのスタイルに対して、初めてface to faceでなく、on lineで例会を行うHYOGO RECが生まれ、その後、食事を伴わない新しいタイプのクラブとして、西宮イブニングRC、神戸モーニングRCが誕生しました。かつて、バーナード・ショーが皮肉交じりに「ロータリーよ、どこへ行く。昼めしを食べに行く」と言いましたが、今では世界のロータリーで例会を昼に行い、食事を取るクラブは、3分の1ほどで少数派になってきました。まさにロータリーは変革の時を迎えています。

とりわけ2016年の規定審議会は、多様性と柔軟性をキーワードに、ロータリーの潮目が変わったと当時のRI会長に言わせるほど、ロータリーに大きな変化を求めました。これをどのように受け止め、なおかつロータリーの魅力をいかに維持していくかが、今後の大きな課題と言えます。しかしながら、ロータリアンには大いなる知恵があります。これまでも様々な課題を乗り越えて来ました。その英知に期待します。

あと半月すると元号は平成から令和に変わります。令和の意味は、春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人一人が明日への希望と共にそれぞれの大きな花を咲かそう、ということでもあります。神戸東ロータリークラブが次の70周年に向けて、さらに大きな花を咲かされることを祈念してお祝いの言葉といたします。



創立65周年記念事業報告

乙守 典厚

創立65周年記念事業実行委員会
委員長

創立65周年を迎える神戸東ロータリークラブは周到な準備や調査を行い、1954（昭和29）年の4月12日に神戸ロータリークラブをスポンサーとして、国際ロータリーに加盟承認を得て33名のチャーターメンバーで創立されました。

以来、「奉仕の理想」を目的としてロータリー活動を進め、高度経済成長の流れに沿って会員数も順調に伸び、134名にまでなった時期がありました。しかし、先の阪神・淡路大震災で例会場を失い、余儀なくホテルオークラ神戸へ移転することになり、また世界的な経済変動の煽り等を受け、会員数も徐々に減少し、10年ほど前には100名を割る事態となりました。

しかし、全会員が力を合わせ奉仕活動をすることにより、会員間の親睦と友情が生まれ、それが信頼となり、また各年度の会員増強部門の惜しみない努力の積み重ねにより、現在のような会員数が増えてくる「神戸東クラブ風」に歩んで参りました。

これからの日本は人口も減少してまいります。次世代の人たちの考え方も更に多様化していきます。

ロータリーの様な団体も、いかに変化していくかが今後の課題となるでしょう。

今年度は会員をはじめ、たくさんの皆様にご支援ご協力いただきました。改めて心より御礼を申し上げますとともに、神戸東ロータリークラブの一層の発展を祈念いたします。

【記念事業】

- ◆創立65周年記念式典・祝賀会を開催いたしました。

2019年4月16日 ホテルオークラ神戸

出席者数

会員	106名	関係諸団体	9名	
夫人	28名	物故者夫人	2名	
ロータリー関係	25名	奨学生	2名	
プロバスクラブ	3名	事務局	5名	合計 180名

- ◆創立記念月間の例会において以下のプログラムを実施いたしました。

・2019年4月2日

創立65周年にちなみ「蜘蛛の糸」～後日談とロータリー～

久野 薫 会員

・2019年4月9日

神戸東ロータリークラブ創立65周年記念パネルディスカッション「65年を経て、さらなる飛躍を！」

澤田会長・須藤会長エレクト・吉井直前会長
コーディネーター 大澤副実行委員長

・2019年4月23日

創立65周年記念月間 アンケート調査 「神戸東RCの行方」
創立65周年記念事業実行委員会 特別委員会 中井章詞 委員

◆創立65周年記念誌の発行

創立65周年記念誌は55周年に計画した5ヶ年計画の2期目にあたり、55周年で提言した計画の10年目のまとめとして刊行いたしました。

今回は特に継続してきた奉仕事業を核として各奉仕委員会の事業を中心として報告いたします。そして、ご支援ご協力をいただきました皆様へ感謝の意を表させていただきます。

又、我がクラブの現状の課題を記念月間に卓話・パネルディスカッション、そしてアンケートを実施し添付しました。

◆委員会・同好会の創立65周年記念事業

各委員会・同好会に創立65周年の意義を理解していただき各事業や催しを開催していただきました。



創立65周年記念式典・祝賀会

(式次第・来賓ご芳名・物故会員・皆出席会員・銀婚を迎えられた会員)

式次第

記念式典

オープニング

国歌斉唱

ロータリーソング斉唱

ご来賓紹介

開会の挨拶

物故会員追悼

歓迎の挨拶

ご来賓祝辞

創立65周年記念奉仕プロジェクト事業報告

感謝状贈呈

祝賀会

歓迎の歌

乾杯

御会食

皆出席会員表彰

銀婚のお祝い

永年勤続表彰

閉会の挨拶

「手に手つないで」斉唱

ご来賓ご芳名 (敬称略)

国際ロータリー第 2680 地区

パストガバナー・地区ロータリー財団

国際ロータリー第 2680 地区

神戸第 1 グループ

神戸第 2 グループ

地区ロータリー財団

神戸ロータリークラブ

神戸ロータリークラブ

神戸ロータリークラブ

神戸東灘ロータリークラブ

神戸東灘ロータリークラブ

神戸東灘ロータリークラブ

神戸南ロータリークラブ

神戸南ロータリークラブ

神戸六甲ロータリークラブ

神戸六甲ロータリークラブ

神戸六甲ロータリークラブ

神戸六甲ロータリークラブ

神戸ベイロータリークラブ

神戸ベイロータリークラブ

神戸西ロータリークラブ

神戸西ロータリークラブ

神戸西ロータリークラブ

ガバナー

委員長

ガバナーエレクト

ガバナー補佐

ガバナー補佐

VTT 小委員長

会長

副会長

幹事

会長

会長エレクト

幹事

会長

幹事

会長

副会長

幹事

会長

幹事

会長

副会長

幹事

矢野 宗司

(加古川中央)

石丸鐵太郎

(神戸南)

浅木 幸雄

(神戸)

山本 秀憲

(神戸六甲)

澤村 正夫

(神戸垂水)

山本 正二

(西宮夙川)

佐井 裕正

大久保裕晴

土井 正孝

持田 俊介

池尾 浩之

横山 道男

飯田 健一

井上 淳也

東 國隆

山本ガバナー補佐 兼任

伊藤 浄真

会員皆様

吉田 基毅

松本 浩之

笹倉 宣也

近田 和裕

尼崎 紀行

神戸東プロバスクラブ
 神戸東プロバスクラブ
 関西テニス協会
 車いすテニストーナメント“DUNLOP KOBE OPEN”
 神戸常盤大学医療検査学科
 神戸常盤大学医療検査学科
 公益財団法人 神戸国際医療交流財団
 公益財団法人 神戸国際医療交流財団
 NPO 法人クルーズ
 株式会社グランド六甲
 絵本作家
 2018-2019 年度 青少年交換長期来日生
 ロータリー財団奨学生

会長
 幹事
 副会長
 トーナメントディレクター
 教授
 教授
 事務局長
 事務局長代理
 理事長
 代表取締役社長

羽賀 紘一
 藤原 儀直
 馬場 宏之
 津島 奈美
 畠 榮
 布引 治
 後藤 彰大
 中村 毅
 川崎 孝子
 波多 達也
 永田 萌
 ヴァリア アルテアガ
 小川 優

物故会員 (2014年7月以降)

横山 滋	2014年 7月 6日	享年68歳
光葉 貞男	2016年 1月31日	享年84歳
加藤 昇治	2016年 3月 9日	享年93歳
樽本 久	2016年11月29日	享年87歳
高石 昇	2017年 4月 1日	享年90歳
榊原 志朗	2018年 5月17日	享年66歳
白羽 誠	2018年 7月30日	享年82歳
嘉納 忠夫	2018年 9月 6日	享年87歳
白田 勉	2019年 3月16日	享年66歳

銀婚を 迎えられた会員

吉田 正人・知佳子

皆出席会員 (2018年3月～ 2019年2月)

45年 執行	16年 横山(幹)
41年 木下	12年 橋本
34年 向井・山野	11年 樋口(一)
30年 田中(健)	10年 山崎
28年 石橋	8年 乙守・大澤・山本(康)
26年 上村(伸)	5年 藤井・道上・澤田・菅野・田中(寿)
25年 小倉	4年 山本(裕)・吉田(博)
24年 中井	3年 鈴木
20年 松下	2年 松井・関本・植村(浩)
19年 吉田(茂)・吉井	1年 森本(楽)
18年 福原・吉田(建)	

創立65周年記念奉仕プロジェクト事業報告

奉仕プロジェクト委員会 松井 照男
記念事業部会長

社会奉仕委員会

委員長 石原 守

(青陽東、友生招待ボウリング大会) 1980年からスタートしたボウリング大会も今年で38年目となりました。長年にわたり神戸六甲ボウルさんには、大変お世話になりました。お陰様で今年度も12月7日に友生支援学校の児童130名、又、1月31日には青陽東養護学校小学部児童90名を超える招待ボウリング大会を開催することができました。



(青陽東、就労支援コンサート) 心の扉を開くハーモニーとして、2014年11月26日に青陽東養護学校にて参加者児童217名で就労プロジェクトの一環として神戸で活躍中のアカペラグループ「キューティーハニー」を招いてコンサートを行いました。又、当クラブコーラス同好会と子供たちが共に歌い踊り交流を深め、就労意欲を向上させることができました。子供たちの全身で表現する笑顔は、今でも忘れられません。



(NPO法人ボレロ支援の歩み) 2017年度より地域に多数存在する福祉作業所を改善するプロジェクトが動き出しました。その福祉作業所は、灘区の水道筋商店街にあるボレロという菓子店でした。立地は最高でしたが店舗は、ガレージを利用した出店にすぎない状態で決して店舗とは程遠い状況でした。そこで、ボレロで販売している焼き菓子を美味しいと言われる本物に近づける為、我がクラブの会員である人気店「ボックス」のオーナーパティシエである福原会員に監修して頂きました。さらに次に着手したことは、販売拠点の整備です。店舗



内を改装するとともに、ユニフォームもリニューアルしました。その結果、明るく、楽しい店舗が完成しました。以前は、1日の売上げが2千円にも満たないところから1万円程度まで売上げを改善することができました。まだまだ不十分ですが、障がい者と地域社会の交流が進み、障がい者の自立の一助になればと願っております。

(NPO法人クルーズ支援、山本拓海君支援)
兵庫フェスタでは、我がクラブも50名を超える会員が参加し、社会的弱者ブースのクルーズ支援並びに山本拓海君募金の支援活動を積極的に行い、フェスタ全体では、7万5千人を超える来場者に恵まれ成功裏に終えることができました。



(車いすテニスの開催) 2019年2月19日に「上地結衣さんと車いすテニスを楽しもう」という企画で当クラブ会員である畑崎会員の財団より多額のご寄付を頂き、開催することができました。当日は、ワールド記念ホールを貸し切り、多くのマスコミにも注目して頂き、友生支援学校から招待した約30名の生徒さんが車いすテニスの試合を間近で観戦し、上地プロや車イステニス協会選手、皆様方の指導のもと、車いすテニスを体験することができました。上地プロ

と右近プロそして、松蔭女子大学テニスの学生さんたちとで、エキシビジョンマッチを披露して頂きましたが、自由に車イスをあやつり、左手で握ったラケットで上地プロが放つボールの鋭い弾道には、集まった100名を超える皆さんから大きな歓声が湧き上がっていました。又、車いすテニス体験の時間には、生徒の皆さんが体いっぱいの笑顔でテニスを楽しんでおられ、大盛況のうちに閉会となりました。車いすに乗ってのテニスは、欧米ではすでに周知され、確固たる位置づけとなっております。ところが、わが日本では最近になってようやく認知されるようになってきました。その活動の第一人者である上地プロをお招きするという壮大なプロジェクトで、テニスを経験したことの無い若者たちが何かを感じとっていただき、そこで出会えた仲間たちとのかけがえのない時間を大切にしてください、2020年のパラリンピックで上地プロに続く選手が出ることを望みます。



青少年奉仕委員会

委員長 田中寿夫

(王子動物園写生会) 2014年度より王子動物園で永田萌先生のご指導による絵画教室を開催しており、今回で7回目となりました

たが、毎回100名を超える子供達が参加し、我がクラブも毎年20名程の会員がボランティアスタッフとして、子供達の安全確保と永田先生のスムーズな指導補助に協力してまいりました。このプロジェクトは、絵本作家の永田萌先生から個別指導を受けることにより子供達が絵を描くことへの興味を深め、豊かな感性と創造力を育む機会とし、又、動物園で絵を描くことで動物園の役割と環境保護への理解を深めて頂くことを目的としております。



(RYLAセミナー) RYLA (ライラ) セミナー (Rotary Youth Leadership Awards Seminar) は、ロータリー青少年指導者養成プログラムのことです。その歴史は1959年5月にオーストラリア・クイーンズランド州で発祥し、1971年に国際ロータリーによって正式採用されたプログラムです。

この地区では1979年に第2670地区（四国全県）と第2680地区（兵庫県）合同で第1回セミナーが開催されました。以来41年間、毎年小豆島にある神戸YMCA余島野外活動センターにて、3泊4日の共同生活の下、講義、レクリエーション、バズセッション、フォーラムなどを通して、リーダーシップのあり方や社会の諸問題について考

える場を提供しています。

このプログラムの特徴として「ロータリアンが直接関与できる特別な機会」であるということが大きく、目的は、20歳以上の若者が集まり、リーダーシップスキルと人格を養いながら、ロータリーについて学ぶ集中研修プログラムを実施し、選ばれた若者たちは、RYLAでさまざまな事柄を学び、多くの人々と接し、地域社会で積極的に活動するリーダーと出会い、貴重な情報とキャリアのスキルを学びながら、自信を育てていきます。

今年度は、我がクラブより1名の青年が参加しました。

今後も、この事業に積極的に受講生を派遣し、次代を担う青少年リーダーを確実に育て、ロータリアンとしての使命を果たしていきたいと思えます。

(青少年長期交換派遣生) 年齢15歳から19歳までの青少年に母国以外の国を訪問したり、そこに留学したりする機会を提供する国際ロータリーの構成プログラムです。学生に最長1年間に渡り海外に留学する機会を与えます。

青少年交換の歴史は古く、1929年にフランスのニースロータリークラブでメンバー同士の子弟の交換が始まりました。そして1939年にはアメリカ合衆国・南米間で行われ、1972年に、RI理事会が価値ある国際活動として正式プログラムとして認定しました。

人生を変えるような貴重な経験を若者に味わってもらいたい、そんな思いをかたちにできるのが「ロータリー青少年交換」です。学生たちが新しい文化や習慣に触れることで、グローバルな理解が芽生え、平和

の土台が築かれます。さらにその恩恵は、学生たちだけでなく、留学生を世話するロータリークラブやホストファミリーにも及びます。世界に対する視野が広がるとともに、学生の自己に対する理解も深まっていくこと。他国の教育制度を体験することによって、学生は学業面でも人間的にも成長を遂げること。異文化出身の学生との親密な交流を通じて、受け入れクラブ、ホストファミリー、そして地域社会全体も豊かになることを目的とし、こんな素晴らしいプログラムに対して、今年度は、ハンガリーの1911地区に清水恵理さんを派遣し、メキシコからVaLeria ARTEAGAさんを受け入れました。今後も派遣生を広く公募し、実施していくべきと考えます。

職業奉仕委員会

委員長 松井照男

(職場訪問の歩み) 会員の職場を含めて他企業の職場を訪問することにより、その企業のこだわり又は、工夫を会得することで自社経営に生かしていただくことを目的としております。そこで今年度は、2018年10月16日に株式会社ロック・フィールド神戸本社へお邪魔させていただきました。さすがに安藤忠雄氏設計の建物だけに東灘第3工区にあることが少しもったいないとの意見をもらい、全長約100メートルの渡り廊下を歩き常設の保育所を横目に館内へ訪問、食品加工会社だけに入口での消毒、行届いた館内の美観と何といてもカフェテラスのような社員食堂は、圧巻でした。雇用の厳しい昨今、福利厚生面の充実には、かなり力をいれられているのは、垣間見えました。それから、会議室にて広報担当の方より約1時間程度、歴史、理念、将来の展望について説明があり、その後、質疑応答に入り8名の会員から質問をさせて頂き



ました。その中で印象に残った質問は、今、社会問題となっている廃棄される食品の再利用についてですが、生鮮食品を扱っていることや、マーケットの大半は、百貨店の地下販売となっているので百貨店の決りに縛られ、食品の持出しが非常に厳しいとの回答でありました。しかしながらそれ以外の残物は、飼料として再利用しているとのこと。今回の職場訪問で気が付いたことは、中食文化を定着され、パイオニアとしてリードされていく志、お客様を飽きさせない商品構成と、衛生、美観にこだわった店舗開発とその道の頂点にいなながらも危機感を常に持ち、職人気質のような社風であると確信しました。

我々ロータリーメンバーもこの度の訪問で多くのことを学び、大変有意義な時間を過ごし自社経営のヒントになるものと思われれます。

(職業奉仕月間の講師紹介) 過去5年間の職業奉仕月間にお招きをした先生方です。皆様には、ロータリーの歴史から現在に至



るまでの職業奉仕の概念をよりわかりやすくご講演をいただきました。誠に有難うございました。

2014年10月28日：「人脈は人生を変える」
野田一夫 様

2016年 1月26日：「私の考える職業奉仕」
パストガバナー 石丸鐵太郎 様

2017年 1月24日：「ロータリーと職業奉仕」
パストガバナー 瀧川好庸 様

2018年 1月16日：「職業奉仕月間にちなんで」
大谷 透 様

2019年 1月15日：「職業奉仕のお話し」
パストガバナー 丸尾研一 様

国際奉仕委員会

委員長 松谷齊泰

(カンボジアVTTプロジェクト) グローバル補助金カンボジアVTTプロジェクトの目的は、カンボジアにおける出生率を高めることにあります。その大きな阻害要因の一つとして女性の子宮頸がんによる死亡率の高さがあると言われております。その死亡率を抑えるには、病理の問題がありますが、特に病理技師の質と共に量の不足が一番大きな要因であると指摘されております。昨年6月にカンボジアにおける3つの国立病院を訪問し、調査の結果同じ結論に至りました。そこで今回のプロジェクトは、当クラブがホストクラブとなり、カンボジアアポンペンメトロロータリークラブが現地の共同提唱クラブとして、病理技師の研修を神戸常磐大学と神戸国際医療交流財団の協力のもと、2週間の研修を行い、この分野の人材を育成することになりました。今までカンボジアの病院では、不明確にさ

れていた質の高い病理標本を作るための手順書を作成することにより、質の高い標本が病理全体の問題を解決する大きな一助となり、更には、人材育成のために大いに貢献するものであると確信いたしました。このグローバル補助金を獲得するに当たり、第2680地区、矢野ガバナーをはじめ、多くの方々のご指導とご援助いただきました。更には、神戸ロータリークラブ、神戸西ロータリークラブ、神戸南ロータリークラブ、神戸東灘ロータリークラブ、神戸六甲ロータリークラブ、そして神戸ベイロータリークラブの皆様より多額の拠出金を頂きました。まだプロジェクトは始まったばかりですが、皆様のご期待に添うようクラブ一丸となり、遂行いたしますので益々のご支援ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



奉仕プロジェクト委員会総括



今年度、奉仕プロジェクト委員長を拝命しております松井照男でございます。ここ数年、

我がクラブの奉仕活動については、創立65周年記念式典にて映像を交えながら報告させていただきました。

我がクラブは、創立65周年を迎えて過去、様々な奉仕活動を行ってまいりました。特に今年度は、国際奉仕事業としてRIより多額の補助金を拠出して頂き、カンボジアVTTプロジェクトが始まりました。この事業は、次世代を担うカンボジアの子供たちにとって、最高の奉仕であると確信しております。

又、この事業は、次年度への継続となりますが、必ずや成功に導けるよう最大の努力を行ってまいります。

そして、社会奉仕事業では、上地結衣さんと「車いすテニスを楽しもう」という企画を行い、多くの障がいを持つ子供たちに勇気と希望を与えることができ、又、明るい未来社会への希望の灯になることを切に希望いたします。

これらの事業を行うにあたって、多くのロータリアンに支えて頂き、又、関係各所の皆様方のお力沿いを賜り成功裏に終えることができました。この大きな友情を糧に奉仕の輪を広め、創立から現在に至って先輩たちが築き上げた奉仕の歴史を継承し続け、理念を守り、親睦と奉仕の融合をしっかりと実現してまいりたいと思います。

2018～2019年度事業紹介



2018.8.28 第1回会員親睦会（コンチェルトにて）



2018.9.16 第35回全国ロータリークラブ野球大会（甲子園）



2018.10.16 職場訪問「ロックフィールド本社」

神戸RCと
一緒になりました



2018.11.17～18
創立65周年記念一泊家族旅行（山陰方面）



2018.11.25
王子動物園絵画教室
「絵本作家永田朋さんと王子動物園で絵を描こう」



2018.12.7
友生支援学校招待ボウリング大会（神戸六甲ボウル）



2018.12.25
忘年家族会 (神戸メリケンパークオリエンタルホテル)



2019.1.31
青陽東養護学校招待ボウリング大会 (神戸六甲ボウル)



2019.2.19
創立65周年記念「上地結衣さんと車いすテニスを楽しもう」



2019.3.17 ~ 4.1 カンボジアVTTプロジェクト



2019.4.4 創立65周年記念親睦ゴルフ大会 (東広野GC)



2019.4.9
創立65周年記念パネルディスカッション
(65周年を経て 更なる飛躍を)



2019.4.16
創立65周年記念東彩会
(ホテルオークラ神戸・兵庫県民アートギャラリー)



2019.4.23 創立65周年アンケート調査「神戸東RCの行方」

創立65周年記念パネルディスカッション (65年を経て、更なる飛躍を！)

テーマ：会費の問題

日時：平成31年4月9日(火) 13:00~13:30

場所：ホテルオークラ神戸「平安の間」

パネリスト：澤田会長・須藤会長エレクト・吉井直前会長

コーディネーター：大澤創立65周年記念事業実行委員会副実行委員長



大澤： それでは、これより創立65周年記念月間第2弾としてパネルディスカッションを開催させていただきます。当クラブの昨日・今日・明日を語って頂く意味で、吉井直前会長・澤田会長・須藤会長エレクトの3人に集まって頂きました。時間が30分弱と短いのでテーマを絞らせて頂きます。予め皆さんにご検討頂いた結果「会費の問題」とさせて頂きました。本問題は長期計画委員会での継続案件として取り組んでいますので、本年度長期計画委員長でもある吉井さんに先ずご発言をお願いします。



吉井： 澤田会長より、長期計画委員会で会費問題の諮問を受けておりましたので色々と調べてみました。32年前87~88年度会費が年間20万円で、それで1989年度に3%消費税値上げという事でこの年に25万円になりました。1995年阪神・淡路大震災、その翌年1996年1月から28万円、それと1997年4月からの消費税5%値上げを見込んで1996年7月から31万円になりました。2016年に消費税が8%に上がったのですがそのまま31万円に据え置きにという事で、今皆様から頂いてる会費が22年前の会費31万円そのままです。それと第1グループの(他クラブ)数字を調べて参りました。神戸東が31万円、神戸ベイが34万1千円、神戸六甲が34万円、神戸南が30万円、神戸東灘が29万円、神戸が35万円台、神戸南は30万円以内にして地区大会の登録料とか色々これ以外に

プラスして調整しています。それと10年前の事もいろいろ調べてみたのですが、まず年間の剰余金640万円台、それが今は約300万になっています。それとキャッシュフローは10年前2200万円、それが今は1700万円となっています。こういう形で、少しずつ今はクラブ運営が厳しくなってきたというのが長期計画委員会の結論です。



大澤：有難うございます。今の話が神戸東・他クラブの現状だと思います。それではなぜ運営が厳しくなっているのかという具体的な事を、現会長の澤田さんにお伺いしたいのですが。

澤田：先ず繰越金が300万円弱、これが多いのか少ないのか、又、適正なのか全くわかりませんが、今年度大きく費用として掛かってきているのが事務局費用であります。皆さんもご存知の様に事務局のスタッフが真夜中まで働いております。我々のために働いてこのままの状況で体調を崩して倒れられたら、困るのは我々のクラブ運営であります。それで事務局をどう建て直していくか、処遇を改善して少しでも働きやすく

した方が良いのじゃないかという事で事務局の報酬というか待遇改善をしました。具体的には社会保険が付いて雇用保険とか年金とかを手当てる事になりました。それだけで年間100万円ぐらい掛かりました。そう云う事もあって次年度例えば、お金がショートして基金を取り崩さなければならないか、そういう事態がある前にディスカッションしてみなさんのご意見を聞いて今後の対応に阻喪が無い様にという事で今日の議論があるのではないかと思います。



大澤：続きまして、会長エレクトの須藤さんについては、消費税の洗礼をこの10月よりまともに受けるのではないかと思います。如何ですか？

須藤：先ずロータリーの会計の事ですけど、会社で複式簿記やっておられると思うのですが、ロータリークラブの会計というのはもう大福帳と言いますか、その会費が入ってきて元々有るお金の上に会費が乗ってそれが又毎年出てゆく…簡単な家計簿のような形になっています。幸い神戸東クラブは皆さんの努力で会員数を維持していますので何とか皆様の

会費が入ってくるのですが、やはり支出の部分の増加が多いという事です。それから創立60周年の時に幹事をやらして頂いたのですがその時からずっと会計を見てますと、やはり60周年の時に全員登録という事で基本金を300万円取り崩しましてその時には5年掛けて元に戻そうとしたのですが、今になって60万円しか戻っていません。それに吉井さんが言われましたように剰余金が600万円から300万円に減っています。周年事業については、60周年の時は全員登録する為に皆さんから特別にお金を集めずに基本金を取り崩しました。65周年については、基本金を取り崩すことよりも皆さんにお願いして事業をやろうとしております。毎年何十万かの周年事業用のお金を積み立てているのですけれども、それも増額しておいた方が、何と言いますかそのためにお金を集めなくて良いんじゃないかと思いません。

次年度繰越金をこれ以上減らさない事を毎年の方針にします。それと基本金が出来たというのは、阪神大震災の時にやはり半年ぐらい会費が入らなくてもクラブがやっていけるという体制をとりましょうという事で、昔の方が色々努力されて基本金というものを作ってくれたのです。今我々のクラブで年間経費が3000万円近いと考えると、その半分ぐらいのお金は安全費として持っていた方がよいと思います。

基本金が今1500万から1200万に

減っていますから、それは元に戻したい。それから周年事業積立金は増やしていきたい。澤田会長が言われました様に、事務局経費の上昇もあります。当然、削れるところは毎年毎年努力して削っていかねばならないと、その辺が今後の課題と思っています。お二人が言われなかったですけども、昔に比べて親睦家族会の委員会予算が減っています。私が個人的に思うのは、ロータリーというのは奉仕もするのですが、やはり異業種の方が集まって良い仲間を作って一緒に奉仕活動するから楽しいのであって、その為にはある程度の資金なしでは出来ません。会費を値上げする事が出来れば、その値上げ分は次年度繰越金の充実・親睦家族会の予算の増加・60周年事業で取り崩した基本金の再積立・周年事業積立金の増加・事務局費用等に充てて、今後もこのクラブが安定して回る様にしたいと思います。何か選挙公約みたいになりましたけれど以上です。



大澤：会費問題については、クラブ協議会とか冬夏会では話し合われたのですが、この様に例会の皆様の前で協議

をするのは初めてで、改めて皆様に意識して頂く機会になれば良いと思います。

それから、事務局で昨日調べた事ですが、クラブ創立期・井波会長の時は年会費が18000円でそれも6000円の3回払いだっただようです。現在は当時と比べると17~8倍になったという事です。又、先程吉井さんが言われたように22年間据え置かれた訳ですが、当時の会長が小倉さんでした。

澤田:「会費問題」にもう少し触れます。会費の問題は非常にデリケートで、はっきり言って会場のホテルオークラさんの食事の事とか、何処で食べてもよいのではないとか色々なご意見があると思いますが、小倉会長年度以来長い間値上げをしていません。前は、阪神大震災があって例会場が前の所からホテルオークラに移ったという非常に大きな変化がありました。今回は大きな変化という、事務局の問題と10月に消費税が上がってくるという事です。20年に渡る物価上昇という現実の中で、会費値上げが避けられないのではないかという事です。ただ、この会費値上げを理事会にかけて一気に総会で決めるという様な形ではなく、何とか大きな同意を得て合意形成を得たいという気持ちでここに座っています。まあこういう形で話が進められても、皆様のご意見を聞く状況にはならないので今日はここで話を終えることになりましたが、一

対一といった色々な場面でも皆さんの意見を是非聞かせて頂いて、もし値上げするのであればどれぐらいの幅でしたらいいかという事もすごく大きな課題です。

これから機会があれば皆様のご意見をお聞きして合意形成を図りたいと思っています。ただ余りずるずるとやってもしょうがないので、ここ1ヶ月ぐらいを目途に5月末ぐらいに合意形成できれば、今年度であれば臨時総会をお願いする事になるかもしれません。次年度にずれ込む様なことは須藤さんは是非やめてくれとおっしゃっているので、いずれにしても理事会で決定して走れる話じゃないので、是非皆さんの忌憚のない意見をいろんな場面で教えて頂けたらと私からお願い申し上げます。

吉井: 長期計画委員会と致しましても、委員会メンバーにアンケートを取りました。13名からの回答で、12名は会費の値上げは必要だとの事でした。但し、色々な条件がありまして、まず会員の皆様に納得できるように説明をしてくれとの希望がありました。長期計画委員会としましては、理事会に値上げはやぶさかではないがきっちり説明して頂きたいということで諮問致しました。値上げの金額は理事会にお任せしますという形で投げかけました、それは11月の事で諮問が終わっております。以上です。

大澤：このテーマで続けることにしたいと思いますが、会場の中で質問があればお受けしますが如何ですか。無い様なので、次は須藤さんをお願いします。

須藤：私もいろんな方に会費の件お伺いしました。出た意見の中で2つあったのが、1つはお金が足らなくなったら例会の回数を減らしたらどうかという意見でした。例会を減らすとその分の食費とか色々なものが浮いてくるので確かにお金は浮くんですけど、それをやってしまうと、「ロータリーは例会の場に皆が集まって色々な勉強をしたり、切磋琢磨してそれを又皆が持ち帰って事業活動とか地域に役立てよう」というロータリーの基本が崩れると思います。ただ、今では年4回休日をとっても良いとかロータリー規範が緩んできており、それ以上緩めたやり方というのはちょっと疑問かなと思っています。もう1つ意見があったのは、オークラで食事をしなくても何処かで弁当を取ったら良いじゃないかという意見も出ておりました。やはり昔は国際会館が例会場で震災でそこが潰れて、その時の古い世話役の方と当時オークラ社長の石大さんとの関係でここへ来させて貰った訳です。やはり神戸東がホテルオークラで例会をさせて頂くというのは、歴史と言うかクラブの格という事になります。その辺は外さない方が良いと思います。

大澤：事務局で調べた事でご報告したいことがあります。過去3年間の年間収支決算の支出額が4200万円~4500万円台となっています。会員数で割ると1人当たり約40万円支出額となります。現在、当クラブの人数も120名に近づいてきており、そうすると年間支出額も5000万円近くになります。消費税増加分だけで100万円程になり、消費税分だけで会員1人当たり1万円の増となります。参考程度に気に留めておいて下さい。その他に何か無いですか？

須藤：もし無ければ1つ良いですか。事務局の話ですが、私が平成元年に入った頃は、ロータリーの色々な事務局仕事は幹事がやれという事で、出来るだけ自分たちで作業しておりました。やはり人数が増えた事とか様々な経緯からいうと、事務局に色々な事を依頼するという比率は確かに増えております。同好会についても事務局にお任せという部分が出てきております。その辺で事務局に色々な事をお願いすると、今の状況では7月でスタッフが1人減ってその後は残りの2人で一時的に全ての事務局仕事を処理しなければなりません。私はこの前神戸クラブに行ったのですが、向こうも会員数160人ぐらいですけども、事務局は2人が常勤で1人が日給でした。ですから当クラブとしては、皆さんがどういいう事務局を望むのかというところはかなり資質が変わってくると思います。だから出来るだけ自分達の事

は自分達でして事務局経費を抑えたいのか、今までと同じ様に事務局に任せきりにするのか、その辺は皆さんの考え方だと思うのです。その辺のご意見がありましたなら、この場でなくてもいいですから聞かせて頂いたら有難いです。

大澤： 本日は「会費問題」という1点で協議を致しました。

会費問題という事がそれだけ今の我がクラブにとって喫緊の課題という事になるという事だと思います。この7月より次年度がスタートしますので、この問題に関してもクラブ全体の総意を早急に取りまとめなければならぬと思います。パネリストの皆様本日はご苦勞様でした。これにてパネルディスカッションを終了させていただきます。



神戸東ロータリークラブの行方

会員意識調査からひも解く「提言その③」

創立65周年記念事業実行委員会
特別委員会

委員長 吉井 正幸

委員 須藤 雄二

委員 中井 章詞

現在の当クラブ長期計画委員会は、神戸東ロータリークラブの中長期計画を企画・立案・検討するために、創立55周年事業の一つとして2008年野田会長年度にアドホック委員会として「未来委員会」の名称でスタートし、久野 薫初代委員長の下、委員会が実施したロータリーに関する神戸東RCの会員の意識調査に基づく未来委員会の提言（その①）として創立55周年記念誌に詳しく記載されております。更に、創立60周年では、5年前に行われた意識調査のアンケートの一部を再度施行し、5年の間に如何なる意識の変化があったかを分析し、提言（その②）としました。

今回、創立65周年を迎え、2019年4月23日(火) 例会時にアンケートをさせて頂き、提言（その③）として皆様にご検討頂きたくご提示申し上げる次第であります。これからの神戸東ロータリークラブの運営に何らかの助けになれば幸いと存じます。以下、各設問の分析を基に提言を述べさせていただきます。

A1) 当クラブの構成をみるもので、前2回の調査に比べ、ロータリー歴の長い会員の割合が多くなり、各ロータリー歴がほぼ平均化しているのは、在籍者の入れ替わり、つまり退会者の割合が少なく、一方、昨今の会員増強委員会の頑張りにより在籍5年未満の比較的若い会員数も増加している結果と思われれます。

A2) ロータリー入会の理由、A3) ロータリーに留まる理由、A4) ロータリアンであることに誇りを感じますか、A5) ロータリーに魅力を感じますか、の設問では、何れの設問でも在籍・年齢を問わず、入会理由は、1番が友情と繋がり、2番が自己開発/研修、3番が仕事の発展、4番が地域社会貢献となっています。「ロータリーは単なる社交クラブではなく、例会を通じて奉仕をするロータリアンを育てる所である」という、ロータリーの本質が当クラブ会員に暗黙の裡に根付いている証拠かと推察されます。

今後、会員数増加には、新会員獲得と同時に当クラブの会員であることが、「認められたい、役立ちたい、褒められたい」と言う人間の三大欲求を満たせるように「友情と繋がり、自己開発/研修の場、地域社会への貢献の機会」をクラブが積極的に提供し、質の良い会員を維持する努力が必要と思われれます。そのためには、会長エレクトは、本来ならば4月末頃開催されるPETSを終了してから、次年度のクラブ運営方針や委員会構成や予算を決めるべきですが、会長エレクトは、選出直後からでも担当年度の為に地域のニーズを調べ、クラブが一丸となって積極的活動が出来るようなプログラムを考える事が望まれます。

また、退会の理由では、仕事上及び出席困難が最も多く、昨今のRIの推奨する定款が大幅に緩和されたのもこの理由でしょうが、ベテランロータリアンになれば、毎週火曜日昼の例会出席と仕事との両立に慣れてくるものと信じたいところです。当クラブでは、メイクアップ緩和によって既に述べた「友情と繋がり、自己開発/研修、仕事の発展、地域社会貢献」の機会を減らすような事にならないように慎重に対処すべきと考えます。

B1) ロータリーは会員数を増加させるべき、B2) 会員増強するべき理由、C1) 数より質を向上させるべき、C2) 数より質を向上させる理由、の設問の集計結果および、会員の質の判断理由の設問から、当クラブでは数よりも質を考えて欲しいとの意思が読み取れます。全体としては、「クラブの活性化と異業種交流」が挙げられていますが、クラブ運営の財務的な面から、100名は最低維持し、120名程度が上限ではないかとの見解があります。また、「人間の品格、奉仕精神の高さ」が質の判断基準の上位にあります。当クラブでは、品格の良い人と友情とつながりを持ち、奉仕委員会活動に熱意を持ち積極的に参加してくれる人材を求めていると言えるのではないのでしょうか。今後の、会員増強および会員選考にこの事を生かして頂く事を期待します。

D1) ロータリーの未来は明るいと思いますか、D2) 神戸東の未来は明るいと思いますか、D3) RI主導のロータリアーはこれで良いと思いますか、D4) 神戸東RCはこれで良いと思いますかの設問では、過去を知らない最近入会した会員にとっては、今のRIの方向性が当然の流れであり、違和感が少ないと思われそうですが、クラブの自主性や職業奉仕重視の考え方が強いクラブ歴の長い会員では、神戸東ロータリアークラブは、他クラブに比較し奉仕活動や同好会活動も活発に行われており、楽しいクラブであるという自負をお持ちの会員が多く、RIの方向性に疑問を持っている方が多くおられるのは事実であろうと思います。この点に関しては、標準定款に反しない限り、当クラブの独自性を生かした、さらに、職業人の集まりであるという当クラブならではのクラブ細則を堅持すべきと考えます。

D5) 神戸東RCから地区ガバナー排出に賛成しますか、F1) 積極的に地区委員/地区委員長を送り出すべき、F2) 地区委員や地区委員長を委託されれば受けますか、F3) 積極的にガバナー補佐を送り出すべき、F4) 地区ガバナー補佐を受けますか、F5) 本クラブが積極的に地区ガバナーをおくりだすべき、F6) あなたは地区ガバナーに指名されたら受けますか、F7) 当クラブから地区ガバナーを7-10年に一度は輩出すべき、F8) 地区に役員を出す理由

これらの設問は、地区とのかかわりだけではなく、クラブ内の結束にも係る問題としてとらえて頂きたいです。通常各奉仕委員会が行う活動では、一部の会員のみの活動になりがちで必ずしもクラブ全体の活動に繋がっていないことが多いと思われまます。しかし、一度ガバナーを輩出すると、クラブの総力を挙げて地区運営にあたるので、クラブ会員の一体感の共有には大変貢献し、魅力あるクラブになる一因であると考えます。この事は、今回の調査結果でも全会員によく理解されている事が示されました。2013年に肯定的な意見が多い

のも、当クラブからガバナーを輩出した直後であるからと推測されます。

しかしながら、今回の調査では、クラブ在籍の長い会員ほど否定が多くなっています。その理由の1つには、クラブと地区の関係の変化にあると思われます。以前はクラブが主体であり、クラブがRIと直結であるという事でありましたが、RIが、財団重視の方針転換と共に地区がRIの出先機関のような役割を担うようになってきています。在籍の長い会員ほど地区委員について否定的な意見が増えるのはこのような理由と考えられます。

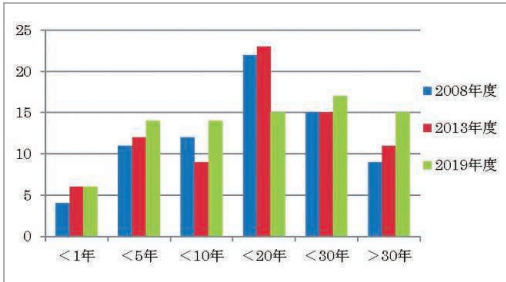
そう言いながらも、当クラブ会員には、クラブ内の結束、地区でのリーダーシップを発揮したいと考えておられる会員もおられます。その為には、RIが財団を通じた資金集めと、グローバル補助金や地区補助金を利用した奉仕活動を推奨している現在、RIの方針の理解や他クラブの動向を知る為には地区に出ている事が有用となると思います。よって、当クラブ会員においてガバナー輩出時の地区運営のノウハウが失われない内に、また、ガバナー排出年度を経験した会員が多く在籍する内にガバナーを輩出すべきで、おおよそ7～10年に1度は出せるよう準備をしておく必要があると思います。その準備とは、執行部の負担の軽減を含め、クラブ会長を育て易いクラブ環境を整備することも重要であると考えます。そして、絶えず一定の地区役員、ガバナー補佐を輩出しておく事も重要と思います。何故なら、ガバナーの条件として、通算7年以上会員であり、会長経験者である事、ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）と国際協議会に出席する事などの資格条件以外にも、地区での経験、地区役員や他クラブとの連携に於いて有用であると思われるからであります。さらに、こう言った人材を時間をかけて育てて行くクラブの体制作りも必要ではないかと思えます。

今回の、会員意識調査を基に神戸東ロータリークラブは、会員の連帯感、安らぎのある、奉仕活動およびクラブライフに前向きなクラブとして、職業奉仕を大切に考え、これからのクラブリーダーとしてのクラブ会長を育てて行くシステムを構築し、執行役員の過重な負担を軽減し、事務局を充実させ、クラブ一丸となるため、定期的に地区役員、ガバナー等を輩出しつつ、地区へのリーダーシップを発揮できるクラブであり続けることが、会員120名を維持していくために必要な事ではないでしょうか。

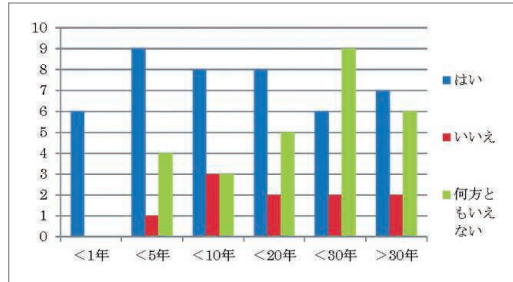
2018～2019年度 会員意識調査

2019年4月23日(火) 例会時施行

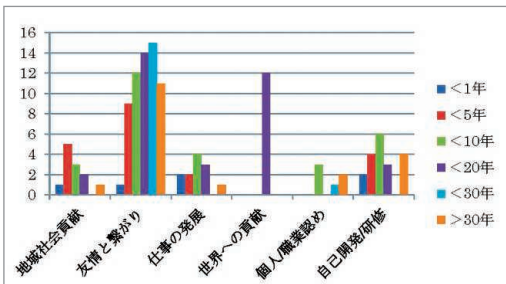
A 1) あなたのロータリー歴は？
2008, 2013, 2019年比較



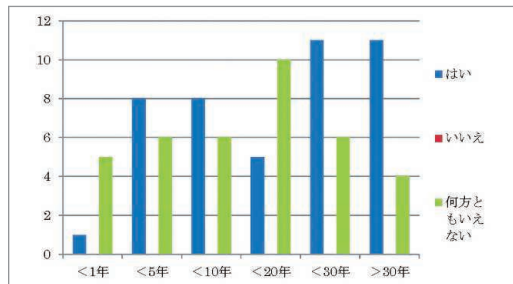
B 1) ロータリーは会員数を増加させるべき
2019年



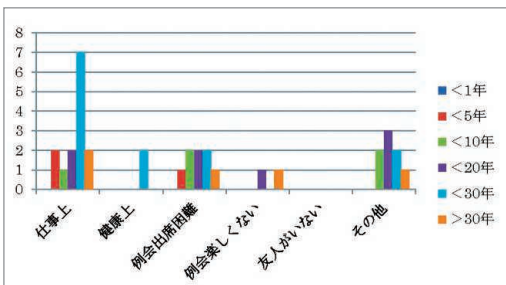
A 3) ロータリーに留まる理由
2019年



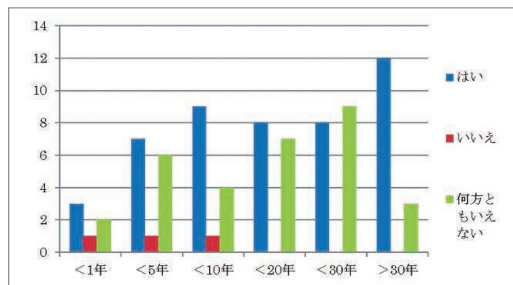
C 1) 数より質を向上させるべき
2019年



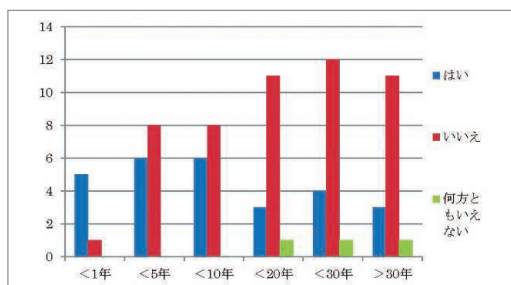
A 7) ロータリー退会を考えた理由
2019年



D 2) 神戸東RCの未来は明るいと思いますか
2019年

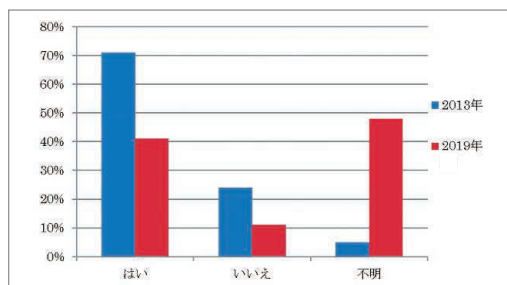


D 3) RI主導のロータリーはこれでよい
と思いますか 2019年



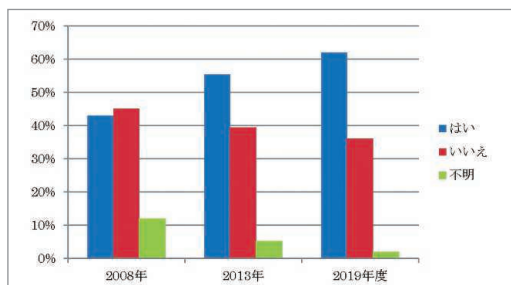
F 1) 積極的に地区委員/地区委員長を送
り出すべき

2013年,2019年の比較

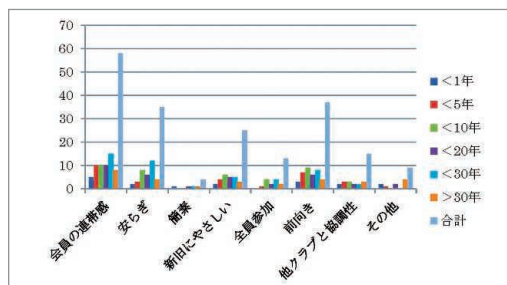


D 4) 神戸東RCはこれでよいと思いま
すか

2008年, 2013年, 2019年の比較

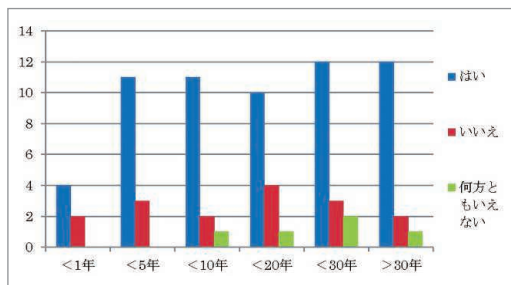


G 1) あなたにとって理想的なロータリー
クラブとは 2019年



D 5) 神戸東RCから地区ガバナー輩出に
賛成しますか

2008年, 2013年, 2019年の比較





ROTARY CLUB of
KOBE EAST
65TH

5年間の歩み（資料）

61st ~ 65th RECORDS

平成26年～平成27年（2014～2015）

会 長 乙 守 典 厚
幹 事 澤 田 正 樹

RI会長テーマ：「ロータリーに輝きを」

クラブ会長テーマ：「希望を抱いて輝きを！」

ク ラ ブ 概 況：期首会員数 108名 入会者 7名
期末会員数 109名 退会者 6名
物 故 会 員 横山 滋 会 員

例会及び運営：創立60周年の翌年ということもあり、一息ついた雰囲気年度が始まりそうであったが、横山 滋会員が急逝され、7月8日の例会が告別式と重なり休会となる波乱含みのスタートになった。クラブ創立60年が過ぎ、新しいスタートの節目の年と位置づけ、神戸東ロータリークラブ風を醸し出すクラブ運営に乙守会長は心を配られ、雅な京都の半日家族旅行や野田一夫氏の卓話や桂福團治氏落語など全般的に華やかな上質の高級感溢れる雰囲気的一年であった。ホームページの一新や週報のメール配信など電子化が進み、若くて新しい会員の力を引き出しクラブ改革を進める端緒の年であった。

委員会活動抜粋：家族委員会：半日家族旅行（京懐石美濃吉本店 竹茂楼）

プログラム委員会：震災20年を迎えて、高嶋良平会員の卓話があった。野田一夫氏、田口 壮氏、アンナ・スラヴィンスカヤ氏など多彩な顔ぶれの卓話があった。

週 報 委 員 会：メール配信が開始された。

会員増強委員会：交流会が開催された。

社会奉仕委員会：就労支援プロジェクト（地区補助金事業）「心の扉を開くハーモニー」を行った。

国際奉仕委員会：シンガポールロータリークラブ第80代会長就任式に乙守会長、香山委員長と井元副委員長が参列。

特 記 事 項：7月第2例会が横山 滋会員の告別式と重なり休会となったが、この突発的な休会に関して、緊急理事会、例会場のキャンセル、会員や地区への連絡等、時間的に制限される中で、幹事・事務局を中心に苦労があった。この後、連絡網の在り方が反省された。週報表紙、ホームページ、封筒等のデザインが一新され、神戸東ロータリークラブの化粧直しが行われた。

会 計：収入においては、入会者1名増ということもあり、通常収入は予算案より若干増となった。支出においては、委員会支出に問題はなかったが、RI分担金の増加やホームページリニューアルに費用がかさみ基本金繰入は10万円に留め、次年度繰越金も前年度と比較し減少した。ニコニコ箱奉仕金会計は、次年度繰越金のごくわずかな微増であった。

む つ み 会：日帰り家族旅行に際して、家族委員会の事前の会場調査や旅行前日からの先乗りに積極的に協力。新春会では、クラブ例会卓話で開催された「桂 福團治氏落語」をクラブ会員とともに楽しんだ。

平成27年～平成28年（2015～2016）

会 長 道 上 明
幹 事 鮑 悦 初

RI会長テーマ：「世界のプレゼントになろう」

クラブ会長テーマ：「原点をみつめ、愛あるロータリー活動を」

クラブ概況：期首会員数 109名 入会者 5名

期末会員数 110名 退会者 4名

物故会員 光葉貞男 会員、加藤昇治 会員

例会及び運営：創立62年を迎え、長い歴史の中で多くの活動をされてきました今年も、一度ロータリーの原点を見つめ直し、ロータリーとは何か、自分はロータリアンとして何が出来るかを考え、愛をもってロータリー活動を実行できる一年にしていきたいと思いますとの思いで道上年度は「原点をみつめ、愛あるロータリー活動を」を会長テーマとして掲げて例会及び各委員会活動を運営しました。社会奉仕、青少年奉仕、職業奉仕、国際奉仕はじめ各奉仕委員会では会長テーマに基づき、弱者への支援、地域に根差した我々神戸東ロータリークラブらしい様々な奉仕活動を企画、開催しました。「会員増強委員会」も頑張り、スタート109名の会員数を110名に増強出来ました。その他多くの委員会、会員の皆様と「むつみ会」奥様の方々に支えられ、大きなトラブルもなく、年度を終えることが出来ました。

委員会活動抜粋：職業奉仕委員会：「時代に合った事業」として神戸医療産業都市及び理研計算科学研究センターの「スーパーコンピューター京」の見学をしました。

社会奉仕委員会：神戸市立青陽東養護学校に対して新しい活動として「知的障がい学校における非常災害時対応支援」と題して「弱者支援及び教育支援」を行った。

国際奉仕委員会：5月28日から5月30日まで当クラブの企画で、ソウル国際大会に参加した。

青少年奉仕委員会：福原敏晃会員の協力で「夢をかなえるパティシエ体験」を初めて行った。王子動物園の絵画教室は、永年にわたる当クラブのこの活動が認めらガバナー賞を頂きました

特記事項：石丸鐵太郎パストガバナーにより、「私の考える職業奉仕」という演題で例会卓話を開催しました。世の中に沢山ある奉仕団体とロータリークラブの相違点を、歴史的経緯及び個人的な見解を織り交ぜてお話をされた。

会計：計画通り基本金繰入、周年事業積立が出来ました。ニコニコ箱奉仕金より東日本災害支援金、台湾南部地震被害支援金、熊本地震被害支援金を送りました。クラブ会計では収支はほぼ計画通り、若干の繰越金を残す決算となった。

むつみ会：総会、新春会共に、会員の皆様のお力添えにより開催。親睦日帰り旅行、韓国ソウルでの国際大会にも参加。

平成28年～平成29年（2016～2017）

会 長 横 山 幹 夫
幹 事 大 澤 勇

RI会長テーマ：「人類に奉仕するロータリー」

クラブ会長テーマ：「楽しもう、そして何ができるか考えよう！」

クラブ概況：期首会員数 110名 入会者 9名

期末会員数 109名 退会者 10名

物故会員 樽本 久 会員、高石 昇 会員、白羽 誠 元会員

例会及び運営：1年間47回の例会の内、外部から招聘した卓話は6回のみで地区ロータリアンが3回でした。残りは総て会員卓話という事で、改めて人材が集結する我がクラブの素晴らしさを実感した次第です。会長テーマに沿って、奉仕活動に関しては既存の事業を徹底的に精査し、熊森協会に対する支援を会員個々の自主的な支援に切り替えました。その結果、過去からの継続事業と新規事業が上手く融合した委員会活動となりました。

委員会活動抜粋：社会奉仕委員会：障がい者福祉事業所「菓子工房・ボレロ」の長期継続支援活動を開始。

青少年奉仕委員会：「王子動物園・絵画教室」「ピース&ネイチャー田植え」実施

職業奉仕委員会：職業奉仕月間に瀧川好庸GEの「ロータリーと職業奉仕」卓話を実施

改正特別委員会：RI規定審議会の改正に伴う当クラブの定款・細則の変更を協議の上決定

会員増強委員会：昨年に引き続き「神戸東ロータリー交流会」を開催し、2名が入会。

特記事項：3年に一度のRI規定審議会の開催・決議によって定款・細則が変更され、我がクラブでは高嶋良平会員を改正特別委員長に指名し、会議・メール会議・クラブフォーラムで10回以上協議を重ね、平成29年6月20日の例会にて、我がクラブの定款・細則の改正が満場一致で承認されました。今期、RI2680地区より野田晴清会員が神戸第一グループガバナー補佐に委嘱された事に伴い、次年度に我がクラブで6年ぶりとなるIM開催を宣言しました。IM実行委員長に中井章詞会員が指名され、準備委員会を立ち上げ次年度に備えました。大阪東RC、京都東RCとの間で「三東会」を結成し、大阪東RCにおいて行なわれた調印式に出席しました。

会 計：通期で9名の入会者・10名の退会者となり実質1名減となりましたが、決算収入が予算収入より約270万円増額しました。その分決算支出も増額した訳ですが内容的には、前期からの繰越金を約14万円減らす程度で次期へ繰り越しました。周年事業積立金30万円と基本金10万円は予定通り計上しました。

む つ み 会：男女混成コーラス同好会が滋賀県大津市で全日本RC親睦合唱祭に参加。役員会・総会を開催し、初釜例会・創立例会・親睦家族旅行等に参加しました。

平成29年～平成30年（2017～2018）

会 長 吉 井 正 幸
幹 事 梅 田 稔

RI会長テーマ：「ロータリー：変化をもたらす」

クラブ会長テーマ：「明るく・楽しく・みんなで奉仕！」

クラブ概況：期首会員数 109名 入会者 7名
期末会員数 113名 退会者 3名
物故会員 榊原志朗 会員

例会及び運営：『明るく・楽しく・みんなで奉仕！』の会長方針のもと、奉仕活動及びクラブ行事への参加を呼びかけ多くのメンバーが交流を図りクラブの理念を共有した。クラブ細則の一部改訂を行い、「職業人または専門職およびこれらに従事した者として」の文言を追加した。

委員会活動抜粋：社会奉仕委員会：地区補助金事業「地域の福祉施設を繋ぐ障がい者福祉作業所の設備改善」を実施。

青少年奉仕委員会：ロータリー青少年交換プログラムへの参加。

国際奉仕委員会：グローバル補助金事業の共同提唱。

職業奉仕委員会：職場訪問の実施（ヤクルト本社三木工場）。

会員増強委員会：交流会の実施と新会員7名の増強。

特記事項：7年ぶりにガバナー補佐として野田晴清会員を輩出し「どうする日本のロータリー」をテーマにIMを開催した。昨年、神戸東RC、大阪東RC、京都東RCの友好3クラブで締結した「三東会」の第1回目のホストクラブとなり第1回三東会を開催した。

会計：収入においては予算の6名入会に対し7名の入会があったが、為替の影響や諸経費の増加で支出が増し次年度繰越金は減少した。基本金繰入金と周年事業積立金は例年通り計上した。

むつみ会：役員会、総会、新春会の実施とみなとこうべ海上花火大会鑑賞会、忘年家族会、初釜例会、創立記念例会、日帰り家族旅行、全日本ロータリークラブ親睦合唱祭への参加。

平成30年～令和元年（2018～2019）

会 長 澤 田 正 樹

幹 事 山 本 康 一 郎

RI会長テーマ：「インスピレーションになろう」

クラブ会長テーマ：「共に一緒に心の手つないで行動しよう」

ク ラ ブ 概 況：期首会員数 113名 入会者 12名

期末会員数 119名 退会者 6名（内 物故者2名）

物 故 会 員 嘉納忠夫 会員、白田 勉 会員

例会及び運営：本年度はクラブ創立65周年の節目の年にあたりました。10年毎の大きな節目の年度とは違い、親睦や奉仕活動で培った会員お互いの信頼友情の絆を深め、クラブのために一緒に行動し、更にクラブの元気・活力アップにつながる年度となるよう多くの事業を行いました。また、毎年会員増強に力を入れており、12名もの入会者を得たことは継続した会員増強の成果の現れである。残念な出来事は、在籍50年の嘉納さん、65歳の若さで白田さんが逝去されたことは痛恨の極みであった。9月4日（火）の例会は、台風21号直撃が予想され安全面から中止を決定し、会員への緊急連絡を実施した。

委員会活動抜粋：家族委員会：山陰方面に一泊家族旅行の実施、家族忘年会では会員有志による“おやじバンド”を結成し演奏。

プログラム委員会：街づくりの専門家による興味ある卓話の実施

会員増強委員会：入会に向けた交流会の開催

公共イメージ委員会：外部に向けたロータリーに関する資料作成

奉仕プロジェクト委員会：『ひょうご五国+ワールドフェスタ』、『インターナショナルキッズディ』に参加

社会奉仕委員会：車いすテニスを紹介した障がい者と健常者の交流事業の実施

国際奉仕委員会：カンボジアでの子宮頸がんの診断に関するVTT（職業研修チーム）事業の実施

創立65周年記念事業実行委員会：奉仕事業を映像で振り返り、協力者、団体をお招きし、式典、祝賀会を開催

特 記 事 項：・米山記念奨学生の受入れ 青少年交換長期派遣生の派遣、来日生の受入れ

・危機管理委員会規則の作成、委員会の設置

・クラブ細則の一部改訂について

①第5条 会合 第2節 例会 (d)取消 事由の改訂

②第6条 入会金及び会費 第2節 会費 年会費の改訂

会 計：クラブの財政状況厳しい折につき、グローバル補助金、地区補助金他を申請し、上記の有意義な事業を行った。また、ニコニコ奉仕金を積極的に受入れ、奉仕事業の財源に活用した。創立記念式典、祝賀会費用は積立金を取り崩すことなくクラブ事業費の縮減と会員増によって実施することが出来た。一方、次年度以降の支出増に備え年会費改定について協議を重ね、臨時総会にて年会費増額の承認を得た。

む つ み 会：むつみ会事業及び家族旅行、忘年家族会、創立記念式典・祝賀会に多数の夫人が参加された。また、男性コーラス同好会とむつみ会コーラス同好会による混成合唱団は、福島県郡山市で開催された全国ロータリー合唱祭に参加し、実力通りの素晴らしいハーモニーを届けた。

歴代地区委員（5年間）

2014～2015年度

赤木 文生	ガバナー諮問委員会（ガバナー直轄） PDG
久野 薫	ガバナー諮問委員会（ガバナー直轄） PDG ガバナー指名委員会（ガバナー直轄） PDG 地区研修リーダー 研修委員会 委員長 監査委員会 委員
岩野 了	公共イメージ委員会 副委員長
松谷 齊泰	国際奉仕委員会（奨学金小委員会） 小委員長 ロータリー財団委員会（補助金小委員会） 委員 学友委員会 委員
村元 信吾	国際奉仕委員会（奨学金小委員会） 委員
吉田 正人	青少年奉仕委員会（新世代交換奉仕小委員会） 委員
松下 衛	ロータリー財団委員会（補助金小委員会） 委員 学友委員会 委員長 危機管理委員会 委員
多田 善計	ロータリー財団委員会（資金管理小委員会） 委員
樋口 一哉	学友委員会 委員

2015～2016年度

赤木 文生	ガバナー諮問委員会（ガバナー直轄） PDG
久野 薫	ガバナー諮問委員会（ガバナー直轄） PDG ガバナー指名委員会（ガバナー直轄） PDG 戦略計画委員会 委員
松下 衛	危機管理委員会 委員 国際奉仕委員会（奨学金小委員会） 委員 ロータリー財団委員会（補助金小委員会） 委員 学友委員会 委員長
四方 克明	増強・拡大委員会 委員
岩野 了	公共イメージ委員会 副委員長
吉田 正人	青少年奉仕委員会（青少年交換小委員会） 委員
藤井 光造	社会奉仕委員会（教育問題小委員会） 委員
村元 信吾	国際奉仕委員会（奨学金小委員会） 委員長 ロータリー財団委員会（補助金小委員会） 委員 学友委員会 委員
多田 善計	ロータリー財団委員会（資金管理小委員会） 委員
樋口 一哉	学友委員会 委員

2016～2017年度

赤木 文生	ガバナー諮問委員会（ガバナー直轄） PDG
久野 薫	ガバナー諮問委員会（ガバナー直轄） PDG ガバナー指名委員会（ガバナー直轄） 委員長 危機管理委員会 委員 奉仕プロジェクト特別会計 委員 ロータリー財団委員会 委員長

松下 衛	研修委員会 副委員長 戦略計画委員会 委員 青少年奉仕委員会（青少年交換小委員会） 委員 国際奉仕委員会（奨学金小委員会） 委員
村元 信吾	危機管理委員会 委員 国際奉仕委員会（奨学金小委員会） 小委員長 ロータリー財団委員会（補助金小委員会） 委員 学友委員会 委員
四方 克明	増強・拡大委員会 委員
藤井 光造	社会奉仕委員会（教育問題小委員会） 委員
多田 善計	ロータリー財団委員会（資金管理小委員会） 委員
樋口 一哉	学友委員会 副委員長

2017～2018年度

赤木 文生	ガバナー諮問委員会（ガバナー直轄） PDG
久野 薫	ガバナー諮問委員会（ガバナー直轄） PDG 危機管理委員会 委員 奉仕プロジェクト特別会計委員会 委員
松下 衛	戦略計画委員会 委員 研修委員会 委員 学友委員会 委員
四方 克明	増強・拡大委員会 副委員長 増強・拡大委員会（会員増強小委員会） 委員
藤井 光造	社会奉仕委員会（教育問題小委員会） 委員
村元 信吾	ロータリー財団委員会（補助金小委員会） 委員
多田 善計	ロータリー財団委員会（資金管理小委員会） 委員
関本 剛	ロータリー財団委員会（ポリオプラス小委員会） 委員

2018～2019年度

赤木 文生	ガバナー諮問委員会 PDG
久野 薫	ガバナー諮問委員会 PDG
松下 衛	戦略計画委員会 委員 学友委員会 委員
松井 照男	HYOGO フェスタ実行委員会 委員
白田 勉	公共イメージ委員会 委員
植村 浩史	職業奉仕委員会 委員
田中 寿夫	青少年奉仕委員会（青少年交換小委員会） 委員
中井 章詞	ロータリー財団委員会（補助金小委員会） 委員
関本 剛	ロータリー財団委員会（ポリオプラス小委員会） 委員

歴代役員・理事・委員長（5年間）

	2014～2015	2015～2016
地区ガバナー	滝澤 功治	丸尾 研一
ガバナー補佐	松田 茂樹	阪本 豊起
会長（理事・役員）	乙守 典厚	道上 明
副会長（理事・役員）	吉井 正幸	岩野 了
幹事（理事・役員）	澤田 正樹	鮑 悦初
副幹事	鮑 悦初	大澤 勇
直前会長兼S.A.A.（理事・役員）	野々村禎之	乙守 典厚
副S.A.A.	野田 晴清	嘉納 忠夫
副S.A.A.	植村 孝一	松下 衛
会計（役員）	岩野 了	山崎 仁嗣
副会計	田中 寿夫	榊原 志朗
職業奉仕（理事）	横山 公一	大澤 勇
社会奉仕（理事）	吉田 茂	宮 昭久
国際奉仕（理事）	香山 道宣	井元 憲生
青少年奉仕（理事）	榊原 志朗	福原 敏晃
会員増強（理事）	—	—
ロータリー財団（理事）	—	—
公共イメージ（理事）	—	—
無任所（理事）	吉田 建美	中井 章詞
無任所（理事）	須藤 雄二	—
会長エレクト（理事・役員）	道上 明	横山 幹夫
クラブ奉仕	吉井 正幸	岩野 了
出 席	鎌田 哲夫	藤井 光造
親 睦 活 動	山崎 仁嗣	菅野 和矢
家 族	多田 善計	林 伯正
プ ロ グ ラ ム	樫野 孝人	中尾 優
週 報	藤本 義洋	樋口 一哉
雑 誌 会 報	田中 義明	弘田 芳裕
ロ ー タ リ ー 情 報	森本 一裕	野田 晴清
会 員 増 強	梅田 稔	樫野 孝人
会 員 選 考 ・ 職 業 分 類	樽本 久	角田 嘉宏
ロ ー タ リ ー 財 団	中井 章詞	須藤 雄二
職 業 奉 仕	横山 公一	大澤 勇
社 会 奉 仕	吉田 茂	宮 昭久
国 際 奉 仕	香山 道宣	井元 憲生
米 山 記 念 奨 学	三戸岡英樹	橋本 豊捷
青 少 年 奉 仕	榊原 志朗	福原 敏晃
会 計 監 事	畑崎 廣敏	樽本 久
会 計 監 事	三原 孝公	今井 拓雄
相 談 役	—	—
相 談 役	—	—
長 期 計 画	野々村禎之	乙守 典厚
特 別	—	—

2016～2017	2017～2018	2018～2019
室津 義定	瀧川 好庸	矢野 宗司
本川 英暁	野田 晴清	山本 秀憲
横山 幹夫	吉井 正幸	澤田 正樹
澤田 正樹	山崎 仁嗣	福原 敏晃
大澤 勇	梅田 稔	山本康一郎
梅田 稔	山本康一郎	吉田 茂
道上 明	横山 幹夫	吉井 正幸
今井 拓雄	須藤 雄二	山崎 仁嗣
野々村禎之	中井 章詞	森本 一裕
中井 章詞	吉田 建美 (理事・役員)	友藤 順義 (理事・役員)
多田 善計	多田 善計	田中 寿夫
吉田 正人	三戸岡英樹 (奉仕プロジェクト)	松井 照男 (奉仕プロジェクト)
香山 道宣	鈴木 祐一	石原 守
土田 剛司	田中 義明	松谷 齊泰
樋口 一哉	四方 克明	田中 寿夫
山本 裕計	藤本 義洋	井元 憲生
—	上村 伸幸	藤井 光造
—	乙守 典厚	横山 幹夫
松下 衛	—	—
—	—	—
吉井 正幸	澤田 正樹	須藤 雄二
澤田 正樹	山崎 仁嗣 (クラブ管理運営)	福原 敏晃 (クラブ管理運営)
山本康一郎	角田 嘉宏	野々村禎之
弘田 芳裕	山本 裕計	香山 道宣
菅野 和矢	吉田 茂	田中 義明
須藤 雄二	福原 敏晃	鈴木 祐一
加納 哲裕	吉田 博	則岡 弘士
石橋 恒生	白田 勉 (広報)	小谷 哲也 (広報)
高嶋 良平	乙守 典厚	横山 幹夫
山本 裕計	藤本 義洋	井元 憲生
乙守 典厚	須藤 雄二	野田 晴清
山崎 仁嗣	上村 伸幸	藤井 光造
吉田 正人	三戸岡英樹	松井 照男
香山 道宣	鈴木 祐一	石原 守
土田 剛司	田中 義明	松谷 齊泰
井元 憲生	宮 昭久	大澤 勇
樋口 一哉	四方 克明	田中 寿夫
友藤 順義	今井 拓雄	吉田 建美
岩野 了	塚本 哲夫	橋本 豊捷
—	—	三原 孝公
—	—	高嶋 良平
道上 明	横山 幹夫	吉井 正幸
高嶋 良平 (改正特別)	—	乙守典厚 (創立65周年記念事業)

現会員名簿

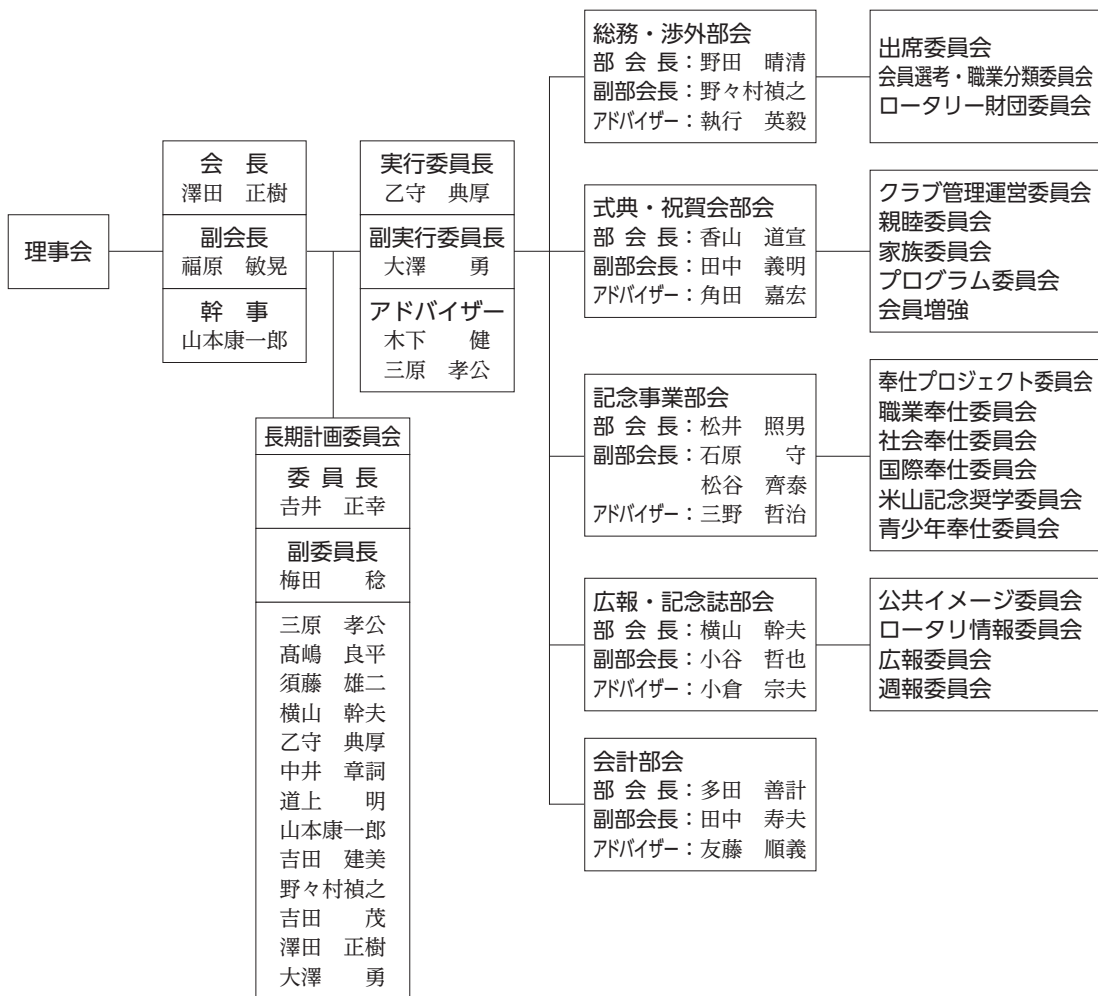
悉皆番号	氏名	職業分類	入会日	推薦者	職名
143	赤木文生	弁護士	S42.12.5	村田(定)、奥野	赤木海事総合法律事務所
374	有澤忠雄	医師(眼科)	S63.9.6	三好、高嶋(良)	眼科有澤クリニック 院長
528	鮑悦初	食品業(調味料製造販売)	H16.3.2	植村(孝)、角田	(株)廣記商行 取締役会長
630	バルワニムケシ	真珠原料輸入	H31.3.5	松井、上村(修)	マニックパール有限会社 代表取締役
455	土城敏彦	建築設計士	H7.8.29	樽本、小倉	(株)土城設計 代表取締役社長
562	藤原崇晴	建設業(建設請負業)	H21.9.1	川崎、池西	藤原建設(株)
591	藤井光造	室内装飾品	H25.10.8	鎌田、横山(幹)	(株)クレアシオンフジイ 代表取締役
615	藤井卓哉	証券会社	H29.5.16	木下(健)、大澤	大和証券(株) 神戸支店 支店長
572	藤本義洋	歯科医	H23.4.12	上村(伸)、三原	藤本歯科クリニック
500	福原敏晃	菓子(洋菓子)	H12.8.29	石橋、工藤	(有)ポック 代表取締役社長
604	後藤章暢	大 学	H27.12.1	三戸岡、中井	兵庫医科大学 先端医学研究所 教授
629	芳賀博之	電気制御器製造配布	H31.3.5	井元、三野	トヨデンサービス(株) 代表取締役社長
515	原田信也	流通市場(会員権売買)	H14.5.7	野田、畑崎	公益財団法人畑崎財団 理事、事務局長
525	橋本豊捷	紙工業(紙製品製造販売)	H15.11.11	福原、壺井	(株)橋本パッケ
203 491	畑崎廣敏	公益財団法人	S48.3.20 H11.06.29(再)	小倉、野澤	公益財団法人畑崎財団 理事長
618	樋口敦仁	土地家屋調査士	H29.9.5	藤本、土城	(有)樋口測量事務所
543	樋口一哉	鉄鋼業(厚鉄板)	H19.5.22	上村(修)、金栄	樋口鋼業(株) 代表取締役社長
585	弘田芳裕	酒精飲料販売	H24.6.5	今井、吉井	(株)ひよどり商店 代表取締役
622	本田正昭	電気機器製造販売	H30.6.5	木下(健)、角田	(株)日立製作所 神戸支店 支店長
632	池上勝義	児童施設	H31.3.19	松井、田中(健)	若宮保育園 理事長・園長
488	池西正広	不動産業(住宅経営)	H11.6.8	寺崎、中口	イケニシ(株) 代表取締役
347	今井拓雄	酒精飲料販売	S61.6.17	安福、高田	(株)今井商店
516	井元憲生	被服業(婦人服販売)	H14.5.7	植村(孝)、畑崎	(株)バリュー・プランニング 代表取締役社長
623	井上浩次	人材派遣サービス	H30.6.26	藤本、山本(裕)	(株)アイシス 代表取締役
400	石橋恒生	印刷・出版	H2.9.18	植村(孝)、藤田(久)	(株)興正社 代表取締役社長
607	石原守	印刷	H28.5.17	角田、福原	(株)桜商会 代表取締役
563	石川泰平	ゴム工業(ゴム製品製造)	H21.9.1	土城、上村(修)	石川化成(株)
530	伊藤隆啓	不動産業	H16.4.20	鎌田、吉田(茂)	(有)五代興産 代表取締役
432	鎌田哲夫	弁護士	H5.6.22	赤木、村田(由)	海岸通法律事務所
424	上村伸幸	歯科医	H4.11.24	木下(健)、三原	上村歯科医院 院長
625	神田孝平	歯科医	H31.1.8	吉田(建)、三原	神田歯科医院 院長
584	檜野孝人	経営コンサルタント	H24.4.10	小倉、田中(健)	(株)CAP 代表取締役社長
601	河崎光	プラスチックフィルム製造配布	H27.4.14	梅田、土城	カワサキ商事(株) 代表取締役社長
480	川崎元男	食品業(青果販売)	H10.1.27	寺崎、中口	川崎青果(株)
353	川島宗治	芸術(茶道)	S61.7.22	安福、柴田	茶道 裏千家
634	木田耕司	金融都市銀行	R1.6.11	塚本、鮑	(株)三菱UFJ銀行 三宮支店長
165	木下健	ゴム工業(ゴム原料販売)	S45.1.6	近沢、高田	(株)三富商店 会長
628	小林一也	不動産管理	H31.2.26	角田、井元	(株)小林コーポレーション 代表取締役社長
631	古賀健一	ビルメンテナンス	H31.3.12	横山(幹)、中川	(株)大和研装社 代表取締役社長
611	小坂哲也	建築	H29.3.28	小倉、土城	(株)タイド 代表取締役

悉皆番号	氏名	職業分類	入会日	推薦者	職名
602	小谷 哲也	パッキング配布	H27.4.21	梅田、土城	コタニ(株) 代表取締役社長
575	香山 道宣	旅行社	H23.6.7	鎌田、伊藤	(株)三洋航空サービス
582	上月 福男	貿易	H23.12.6	野々村、鮑	上月産業(株)
407	工藤 恭孝	書籍販売	H3.5.7	月岡、植村(孝)	(株)丸善ジュンク堂書店 会長
379	久野 薫	病院(医療型病院)	S63.12.6	有澤(武)、薄木	医療法人社団 薫英の会 久野病院 会長
571	林 伯正	不動産業(不動産賃貸)	H23.4.5	鮑、道上	中央実業(株) 代表取締役
508	松井 照男	不動産業(不動産管理)	H13.6.5	野田、川崎	(株)日本ネットワークサービス 代表取締役
375 518	松下 衛	宿泊施設(ホテル)	S63.9.6 H14.7.2(再)	三原、角田	
559	松谷 齊泰	被服業	H21.4.7	戸山、山崎	(株)紅屋 代表取締役会長
449	道上 明	弁護士	H7.5.9	有澤(武)、村田	神戸ブルースカイ法律事務所 所長
261	三原 孝公	歯科技工業	S54.6.12	坂下、角田	(株)ミハラ歯研
560	三戸岡 英樹	医師(消火器科)	H21.4.7	白羽、執行	芦屋三戸岡クリニック
619	光葉 應宏	食品業(チョコレート製造販売)	H30.1.16	西原、植村(孝)	ゴンチャロフ製菓(株)
579	三野 哲治	ゴム工業	H23.9.6	小倉、木下	住友ゴム工業(株)
544	宮 昭久	病院(療養型病院)	H19.5.22	岡、金栄	医療法人社団 敬風会 理事長
613	森本 楽	行政書士	H29.5.9	角田、山本(康)	行政書士法人 きずな神戸
501	森本 一裕	ガラス工業(窓ガラス販売)	H12.8.29	壺井、工藤	(株)森本硝子店 代表社員
614	森本 光一	デザイナー(グラフィック)	H29.5.16	山本(裕)、藤本	(株)スパイラルグラフィック
329	向井 菊美	車輻工業(自転車製造販売)	S60.2.5	藤田(久)、榎本	一般財団法人 自転車センター 理事
616	村井 通浩	生命保険	H29.6.13	山本(裕)、藤本	メットライフ生命保険(株)
580	村元 信吾	電気部品製造販売	H23.9.6	西原、岡	Kein Hing Muramoto (Vietnam) CO., Ltd.
566	中川 俊	不動産業(ビルディング管理)	H21.11.17	川崎、土城	新光明飾(株) 代表取締役
441	中井 章詞	病院(一般病院)	H6.5.31	執行、薄木	医療法人社団 中井病院 理事長
564	中小路 憲右	運輸業(貨物運送取扱業)	H21.9.1	土城、宮	中貨物自動車(株)
362	西原 興一郎	自動車工業(自動車販売)	S62.4.7	森川(正)、嘉納	兵庫三菱自動車販売(株) 社長
252	西村 太一	自動車工業(自動車販売)	S53.2.7	村田、角田	神戸トヨペット(株) 代表取締役会長
440	野田 晴清	建設業(コンサルティング)	H6.4.19	武藤、小泉(進)	(株)エヌビーシー
481	野々村 禎之	食品業(給食用食品)	H10.3.31	三輪、塚本	ウオクニ(株) 代表取締役会長
529	則岡 弘士	貿易商社	H16.3.9	三原、角田	第一貿易(株) 代表取締役
166	小倉 宗夫	化学工業(合成樹脂販売)	S45.1.6	小野、角南	小倉サンダイン(株) 取締役相談役
389	太原 晃一	真珠販売	H1.9.19	南(史)、末正	日信貿易(株) 代表取締役社長
565	大澤 勇	ゴルフ練習場	H21.10.13	嘉納、横山(幹)	(株)オオサワ 専務取締役
458	岡 栄治	建設業(建設請負業)	H8.4.23	寺崎、中口	(株)岡工務店 取締役社長
394	乙守 典厚	宣伝業	H2.2.6	樽本、西宮	(株)トーアコーポレーション 代表取締役社長
509	尾山 宜道	仏教寺院(臨済宗)	H13.6.5	高橋、土城	宗教法人 十善寺
451 588	佐井 奇正	不動産業(不動産賃貸)	H7.6.27 H25.5.21(再)	角田、田中(健)	益順貿易(株)
609	崎山 豊	司法書士	H28.9.27	吉田(博)、土田	L&P司法書士法人
552	澤田 正樹	医師(形成外科)	H20.4.1	久野、三原	さわだクリニック 院長
605	関本 剛	医師(内科)	H28.4.5	澤田、三原	関本クリニック 院長
172	執行 英毅	医師(耳鼻咽喉科)	S45.7.7	池田、風間	

悉皆番号	氏名	職業分類	入会日	推薦者	職名
569	四方克明	建設業(測量設計)	H22.8.3	吉田(茂)、山本(康)	阪神測建(株) 代表取締役
597	塩谷雅英	医師(産婦人科)	H26.7.8	澤田、野田	英ウィメンズクリニック 理事長
590	菅野和矢	宿泊施設(ホテル)	H25.6.25	松下、野田	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
182	角田嘉宏	弁理士	S46.5.18	安福、原	特許業務法人 有古特許事務所
384	須藤雄二	真珠販売	H1.6.13	木下(章)、八馬	伊豫パール(株) 代表取締役社長
603	鈴木祐一	不動産賃貸	H27.6.30	乙守、吉田(茂)	大和船舶土地(株) 代表取締役
492	多田善計	公認会計士	H11.6.29	大辻、樽本	多田公認会計士事務所
627	田島勝也	酒類飲料(ビール醸造)	H31.2.19	今井、山崎	キリンビール(株) 神戸支社 支社長
626	高橋恵信	仏教寺院(天台宗)	H31.1.8	角田、三原	善光寺 住職
323	高嶋良平	食品業(漬物製造販売)	S59.8.7	末正、大牟田	高島酒類食品(株) 取締役会長
382	田中健三	不動産業(不動産仲介業)	S63.12.6	末正、沓脱	(株)ユービーエル 取締役会長
577	田中寿夫	税理士	H23.6.21	鎌田、山本(康)	田中会計事務所
506	田中義明	運輸業(貨物自動車輸送)	H13.4.10	沓脱、河西	田中輸送(株)
599	富永利光	食品業(植物性食品)	H27. 2.10	土城、梅田	富永商事(株) 会長
309 570	友藤順義	日用品雑貨(雑貨輸出入業)	S58.11.8 H22.8.3(再)	角田、樽本	友藤商事(株) 代表取締役社長
311	戸山晶夫	病院(総合病院)	S58.12.6	安福、高嶋(平)	学甲商学園 名誉理事
453	壺井醇	食品業(パン製造販売)	H7.6.27	横山(幹)、角田	(株)ケルン 取締役会長
358	塚本哲夫	食品業(乳製品製造販売)	S62.1.13	有澤(武)、木下(健)	六甲バター(株) 代表取締役会長
608	植村浩史	不動産業	H28.6.14	角田、横山(幹)	(株)サザンモール六甲 代表取締役社長
363	植村孝一	被服業(既製服販売)	S62.4.14	芹沢、角田	マック(株) 監査役
524	上村修司	園芸業(花卉販売)	H15.10.7	土城、川崎	(株)順花園
567	梅田稔	食品業(食肉加工)	H22.3.16	植村(孝)、吉田(茂)	(株)メイショク 代表取締役社長
633	魚谷勝	広告代理業	H31.5.7	井元、乙守	(株)ウインウイン 代表取締役社長
620	和田新	社会保険労務士	H30.2.6	山本(裕)、横山(幹)	トラスト社会保険労務士法人
621	和田真一	税理士	H30.2.20	梅田、多田	和田税理士事務所
610	渡邊英一郎	化学工業(工業薬品輸入販売)	H28.12.13	樋口、鈴木	秀和(株) 代表取締役
586	山本裕計	情報・調査サービス	H25.1.22	友藤、横山(幹)	アイクラフト(株) 代表取締役
454	山本康一郎	建築設計士	H7.6.27	沓脱、月岡	(株)山本設計 代表取締役社長
281	山野真	貿易商社	S56.9.1	有澤(武)、野澤	(株)山野商会 代表取締役
538	山崎仁嗣	飲食業(和食店)	H18.1.10	横山(幹)、野々村	(有)東栄弥 代表取締役
546	横山公一	事務用品販売	H19.5.22	工藤、植村(孝)	横山(株) 代表取締役社長
386 534	横山幹夫	金属業(非鉄金属売買)	H1.6.13 H17.6.14(再)	小倉、植村(孝)	ワイメタル(株) 代表取締役
596	吉田博	司法書士	H26.6.24	大澤、岡	司法書士 吉田博事務所 所長
470	吉田建美	歯科医(矯正歯科)	H8.11.19	三原、上村(伸)	(医)吉田矯正歯科クリニック
510	吉田正人	不動産業(不動産賃貸)	H13.6.5	岡、壺井	X-ROKKO 代表者
485	吉田茂	建設業(土木工事)	H11.3.23	沓脱、鎌田	神戸整備重機(株) 代表取締役
486	吉井正幸	木材業(木製品販売)	H11.4.13	増田、横山(幹)	(株)桃山商店 専務取締役
624	柳川晃良	不動産業(不動産仲介業)	H30.6.26	梅田、吉田(茂)	(有)柳川商会

2019.6.11 現在

神戸東RC 創立65周年記念事業実行委員会 組織図



編集後記

創立65周年を迎え記念事業として何を行い、記念式典をどの程度の規模にするのか、澤田会長、乙守実行委員長ともに大いに悩まれたことと思います。当初は来るべき創立70周年・75周年に力点を置き、創立65周年は比較的質素にやっけて行こうという方針だったと思います。しかしながら、動き出すと各委員会の事業は大きく充実したものになり、式典も規模の大きなものになっていきました。記念誌部会としても当初は会報第3号の中に特集として組み込む予定でしたが、それでは収まり切れず独立した記念誌として発行することになりました。何とか年度内にお届けしたいという思いで制作に励みましたが、何分にも期間が短く丁寧にしたつもりですが、不手際があるかも分かりません。その際は友情に免じてお許しください。サイズも従来同様B5版にしております。5年毎の正式な記録誌としてもお手元においていただければ幸いです。

最後になりましたが、無理をお願いした関係各位並びに執筆者の皆さんにはご協力をいただき、感謝を申し上げます。

創立65周年記念事業実行委員会広報・記念誌部会
部会長 横山幹夫

神戸東ロータリークラブ
創立65周年記念誌

発行日 2019年6月29日
発行者 神戸東ロータリークラブ
〒650-0042 神戸市中央区波止場町2丁目1
ホテルオークラ神戸内
TEL(078)333-1818 FAX(078)333-1515
表紙デザイン 森本光一
企画・制作・印刷 株式会社 興正社



ROTARY CLUB of
KOBE EAST
65TH

